

01

産地は変化する①

綿花畑の盛衰

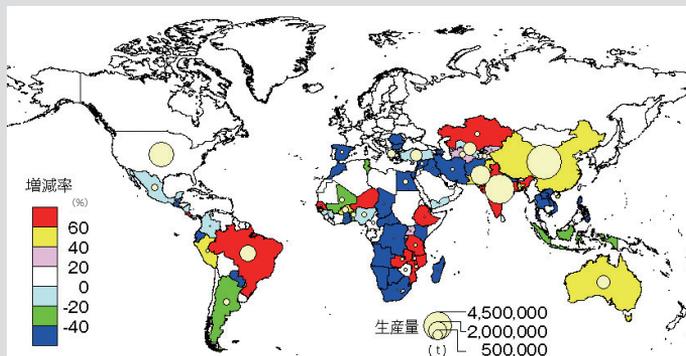
農業は自然が相手ですので、年によって豊作・不作がありますが、それだけでは説明できないほど生産量が急増・急減するのがプランテーション作物です。国際価格の変動や国の政策、大口需要先の思惑などによって産地や収穫量が大きく変わります。プランテーション作物として長い歴史を誇る綿花の生産量の統計を地図化してみました。

まず、2013年の世界の綿花の生産量に1995～2013年の生産量の増減率を重ねました(図3-1)。世界の綿花の生産国を上から挙げていくと、1位：中国、2位：インド、3位：アメリカ、4位：パキスタン、5位：ブラジルですが、アメリカを除いた各国で生産量を大幅に伸ばしていることがわかります。

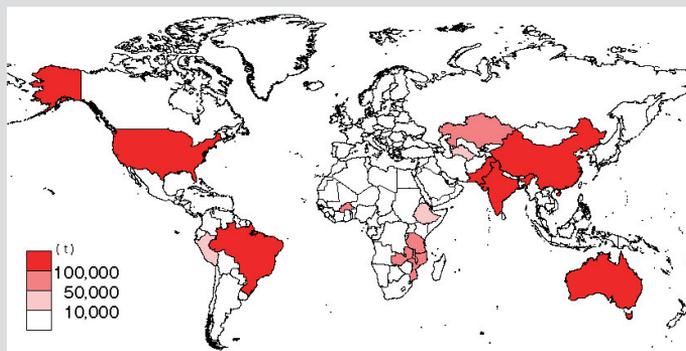
次に1995年から2013年にかけての生産量の伸びが高い国を色分け地図にしてみました(図3-2)。もともと生産量が上位の国々に加え、オーストラリアやブラジルなど、広大な国土を持つ熱帯～砂漠気候の国で生産量が伸びていることがわかります。逆に、綿花の生産量が大きく落ち込んだ国を塗りつぶしてみると(図3-3)、イランから西の中東諸国や旧ソ連の中央アジア諸国、アフリカ、アルゼンチンで落ち込みがひどいことがわかります。

中央アジア諸国やエジプトでは、旧ソ連が主導して1970年代から1990年代にかけて、巨大なダムや灌漑水路によって砂漠に近い半乾燥地帯(ステップ)を綿花畑に変える国家プロジェクトが相次いで行われました。アラル海に注ぎ込む大河、アムダリア川の水をカスピ海方面に流すことで砂漠を綿花畑に変えた「カラクーム運河」計画や、1970年にソ連の援助でナイル川に建設されたエジプトの「アスワンハイダム」による環境への悪影響が懸念されています。

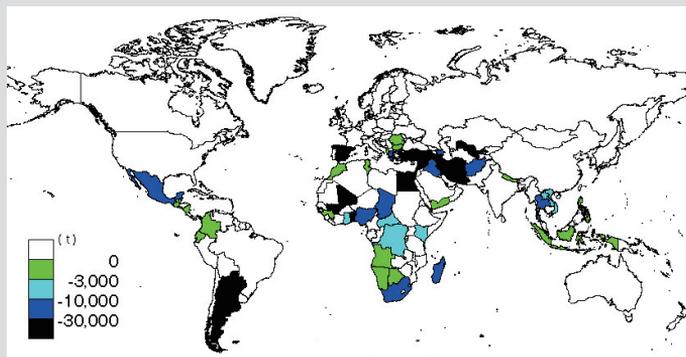
グローバル化を極めるアパレルチェーンでは、均質な原料を大量に安く仕入れることを大前提としていますが、こうした悪影響を促すおそれがあります。



●図 3-1：世界の綿花生産量（2013年）と増減率（1995年との比較）



●図 3-2：綿花の生産量が増えた国（2013年）（10000t以上）



●図 3-3：綿花の生産量が減った国（2013年）（3000t以下）

〈世界食糧機関統計（FAO STAT）より作成〉

01

地図で見る電力①

国境を越える電力

東日本大震災の直後、関東地方を中心に電力の不足が懸念され、大規模な「計画停電」が行われました。各地域の電力会社は日々電気を融通し合っていること、ある程度余裕を持って発電し、消費しないと「ブラックアウト」になる可能性があるなど、電力供給のしくみとアキレス腱を目の当たりにする機会となりました。

世界に目を向けてみると、国を越えた電気のやり取りは日常的に行われています。図4-1、4-2で「電力の貿易」を統計と地図でまとめてみました。

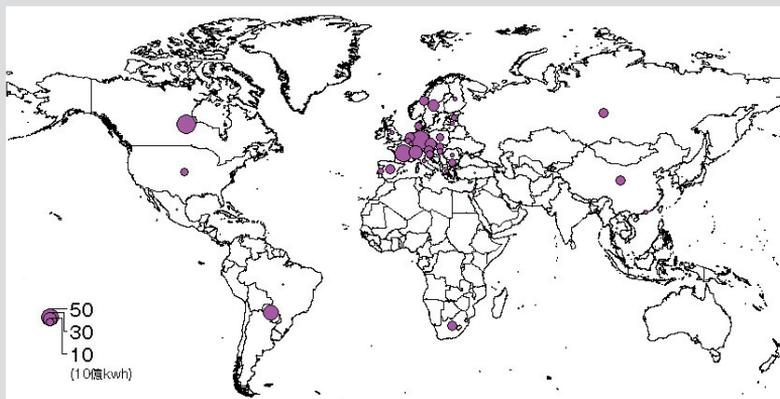
2007年に加盟27カ国に対して「電力自由化指令」を出したEUでは、発電と送電会社が分離され、顧客がどの国の会社と契約して電気料金を支払うかは完全に自由化されています。つまり、どの国も電気輸出国であり、輸入国でもあるわけです。特に、水力発電や地熱発電など、低コストで大量の電力を供給できる国の中には、電気が重要な「輸出商品」になっているところもあります。

図4-3は、ヨーロッパ各国の発電量と輸出配分率（発電量の何割を輸出に回しているか）をまとめたものです。20世紀の終わりから21世紀初頭にかけてEU加盟を果たした東欧諸国や、南ドイツ・北イタリアの工業地域に近いスイスで発電された電力が輸出に回される比率が高くなっています。輸出配分率が最も高いのは、旧バルト三国の一つエストニア（82.0%）で、次いで旧ユーゴスラビアのスロベニア（66.4%）、ラトビア（56.0%）、スイス（54.1%）、チェコ（45.6%）と続きます。輸出電力量が世界一のフランスの輸出配分率は電力13.4%、ドイツは13.3%です。電力の輸入国の順位を見てみると、地続きの隣国から低コストで電力を調達できる環境にある国が多いことがわかります。

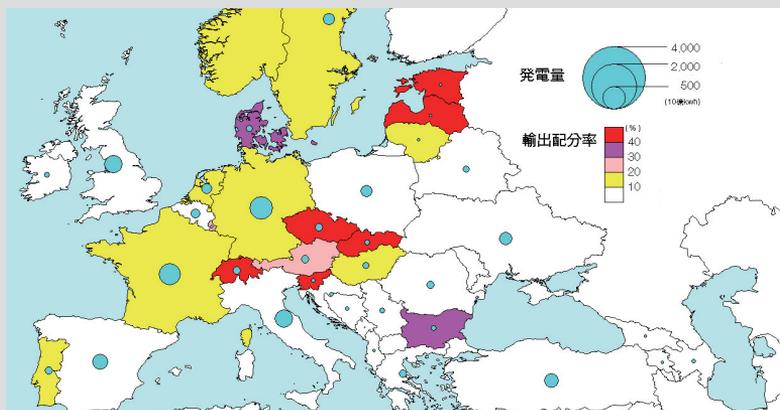
※1 英語で「停電」を指す言葉だが、突発的かつ広範囲にわたって電力の供給が遮断される場合に用いられることが多い。アメリカ東海岸で2003年8月14日に発生した大停電では、復旧まで29時間を要し、5000万人に影響を与えた。被害額は金融機関だけでも7000億円に及んだという。

	輸出国	輸出量 (10億 kWh)	輸入国	輸入高 (10億 kWh)
1位	フランス	65.914	フィンランド	19.089
2位	ドイツ	54.768	デンマーク	15.920
3位	カナダ	51.076	フランス	12.213
4位	パラグアイ	46.120	香港	11.808
5位	スイス	32.237	チェコ	11.587
6位	チェコ	27.501	タイ	10.527
7位	ロシア	24.111	イラク	8.201
8位	スウェーデン	19.714	アルゼンチン	8.116
9位	中国	19.320	リトアニア	8.062
10位	オーストリア	16.777	中国	6.874

●図 4-1：電力の輸出入 (2011年)



●図 4-2：世界の電力輸出国 (単位：10億 kWh)



●図 4-3：ヨーロッパ各国の発電量と輸出配分率 (単位：10億 kWh) (International Energy Statics より)